

2020年10月8日

東京海上日動あんしん生命保険株式会社

国立大学法人東京大学が発行するソーシャルボンドへの投資について

東京海上日動あんしん生命保険株式会社(社長 なかざと かつみ 中里 克己、以下「当社」)は、国立大学法人東京大学が発行するソーシャルボンドへの投資を実施いたしました。

ソーシャルボンドとは、社会課題の解決に資するプロジェクトの資金調達のために発行される債券です。本債券への投資資金はFSI^{注1}事業に充当され、「ポストコロナ時代の新しいグローバル戦略を踏まえた研究」、「安全、スマート、インクルーシブなキャンパスの実現」を通じて、より良い未来の創造のために活用されます。

また、本債券の発行により調達した資金が充当される事業は、国連の持続可能な開発目標(SDGs)^{注2}の達成にも貢献するものです。

<本債券の概要>

債券名	第1回国立大学法人東京大学債券(40年)
格付	AA+(R&I)、AAA(JCR)
発行総額	200億円
発行日	2020年10月16日
償還日	2060年3月19日

本債券への投資は、当社の資産運用の基本方針である安定的な収益の確保に資するとともに、地域・社会への発展に貢献できるものと考えております。

当社は、引き続き、SDGsの達成に貢献する事業を金融面からサポートし、安心・安全でサステナブルな社会づくりに貢献して参ります。

注1)FSI(Future Society Initiative:未来社会協創)とは、教育と研究に加えて、複雑化する社会課題の解決を新たなミッションと認識し、文理を超えた「知」を駆使して、より良い未来社会の構築に向けて協創すること

注2)持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲット

以上